

安来市立伯太中学校だより

つながり、考え行動する伯中生

# 独立 協力 技術

学校教育目標「**自己を見つめ、他者と協働し、未来を拓く生徒の育成**」

令和6年5月20日号



生徒総会の様子



代表で肩章をいただく会長

全校で誓いの言葉を言いました



JRCの概要や活動について聞きました



## 学校生活の充実を図る

中学校学習指導要領では、次の点が「生徒会活動」のポイントとなっています。

生徒同士で協力し、  
学校生活の充実と向上を図るための  
いろいろな問題の解決に向け、  
**計画を立て役割を分担し、  
協力して運営すること**

活動の内容は次のとおりです。

- ① 生徒会の**組織づくり**と**生徒会活動の計画や運営**
- ② **学校行事への協力**
- ③ ボランティア活動などの**社会参画**

4月24日の生徒総会では、主に4月から12月までの活動について話し合われました。

「給食の食べ残しチェックはなぜ11月に行うのか、減らすことが目的なら年度当初にしたほうがよいのではないか」など、課題と目的をしっかりとふまえた質問が各学級から寄せられました。

総会の前には、今年度もJRC（青少年赤十字）の登録式を行いました。

生徒会長が生徒を代表して登録証を提出し、肩章をいただいた後、全員で誓いの言葉を読み上げました。

生徒はJRCの概要や活動説明を真剣に聞いていました。

青少年赤十字では、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標と、「気づき」「考え」「実行する」という態度目標が掲げられています。



## 多くの皆様に

1学期の学校公開日を5月10日(金)に設けました。公開授業、PTA総会、学年懇談会、部活動懇談会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



1年1組 道徳

5校時は、全学級で人権をテーマとした道徳の授業を公開しました。

- 1年1組「いじめにあたるのはどれかな」
- 2年1組「自分も相手も大切にする方法を考えよう」
- 3年1組「いじめのない世界にするために  
できることを考えよう」
- 支援1組：「リフレーミングで短所を長所に」

支援1組では、「自分は行動が遅い」と言った生徒に対し、周りの生徒が「マイペース」や「慎重」など、ポジティブな言葉に置きかえて伝えている場面がありました。どの学級でも生徒が課題をしっかりととらえ、自己の考えを伝え合うことができていました。



PTA総会には全保護者の6割強の方のご出席がありました。総会後も、保護者の方の進行により学年懇談や部活動懇談が行われました。

生徒の学校での様子や、今年度の学校運営方針、教職員の様子などを知っていただく良い機会となりました。長時間ありがとうございました。



「スマホ・ネット安全教室」での意見交換の様子



## 上手に情報活用を

5月1日、NTTドコモ様にご協力いただき、スマホ・ネット安全教室を実施しました。

リモートでの説明・問いかけや、資料のご提示をいただき、生徒は話し合いや発表をしながら次の内容について学習できました。



- **どのくらいのリスクがあるかを考えてみよう**  
(インターネット情報のあやしさ編、使いすぎ編)  
・リスクを見積もる3つのポイント
- **情報技術の上手な活用とリスクを考えると?**  
・リスク(危険性) = 起こりやすさ × 被害の大きさ
- **自分に起こりそうなことはどれだろう**
  - ① 長時間利用
  - ② 高額料金
  - ③ チャットで悪口を書かれる
  - ④ 歩きスマホ

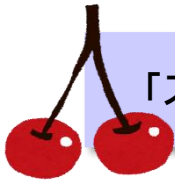


3年生  
リモートで  
発表している

どのくらいのリスク(危険性)があるかを考え、**利用のしかたを工夫することや、適切に利用するためのスキルを身につけることが大切ですね。**

スマホは多機能で人とつながることのできる便利なツールです。それゆえに使いすぎてしまう場合が多くあります。**他の小さな楽しみをたくさんもっておくことや利用時間制限や置き場所の工夫など、一人ひとりが考え実行し、大切な時間を有効に使って成長につなげるとよいですね。**





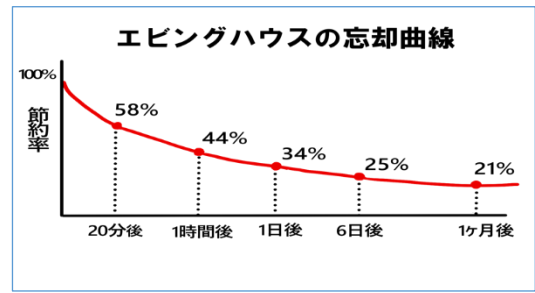
## 「スマドリ」使い始めました

個別最適な学びの充実を図るため、生徒が自己調整しながら学習を進めていくことができるよう、多様な教材を提供しています。

今年度デジタル教材として活用するのは、「スマイルドリル」（第1学年と第2学年）と「Qubena」（学力育成事業研究協力校として市より第3学年生徒に提供）です。

スマイルドリルは、9教科（国語・数学・理科・社会・英語・技術家庭・保健体育・音楽・美術）約1万6千問の問題を練習することができます。5教科（国・数・社・理・英）は教科書に準拠した教材となっています。

さて、右上のグラフは、一度覚えたことを再度覚えるためにかかる時間の「節約率」を表したグラフです。



20分後に覚えなおすと、6日後に覚えなおした時にかかった時間より33%節約になるということです。

繰り返し学習することで忘れにくくなりますので、デジタル教材と紙ベースの教材を自分のニーズに合わせて使い分け、家庭での学習を充実させてほしいと思います。

**勉強の成果 = 勉強時間 × 勉強効率** と言われます。効率の良い方法で、取り組む時間を増やしていくことも大切ですね。

### 「校支援メール」の確認を

今年度入ってから全保護者宛メールを5通発信しております。「未開封」となっておられる方がいらっしゃいますので、受信されたら開封をお願いします。また、複数の端末を登録されている方で、使用されないものは登録解除いたしますので、伯太中（37-1007）にご連絡ください。

### 東部地区吹奏楽祭 安来ブロック大会

6月1日には吹奏楽部が、4日・5日には各運動部が出場します（剣道は5日）。十分力を発揮できることを願っています。

### 学校・家庭・地域がともに大切にすること（PTA総会前の説明）

学校公開日にお配りした資料に、「学校・家庭・地域がともに大切にすること」を記しました。再掲いたします。

#### （1）安全安心な居場所と身体的・精神的な健康の保障

#### （2）子どもの自己決定を促す

自分で物事を考え、  
判断し、実行する経験を  
どれだけ積み重ねたかで  
大人になったときの自立度が変わる

#### （3）よりよい学校・社会づくりのために

**力を発揮する**

### 子どもの自己決定を促す声かけ

- どうしたの？（寄り添い、思いを聴く）
- そうなんだね（思いを受けとめる）
- どうする？ どうしたい？
- 何か手伝えることはある？（自己決定を促す）

令和6年度4月号より、生徒にはGoogleクラスルームで、保護者の皆様には校支援メールで学校だよりを配付しています。学校ホームページにも掲載しています。

# 安来市立伯太中学校いじめ防止基本方針（ダイジェスト版①）

## 策定の目的

いじめ問題は、心豊かで安全・安心な社会をいかにしてつくるかという、学校を含めた社会全体に関する国民的な課題である。「伯太中学校いじめ防止基本方針」は、いじめ防止対策推進法等に基づき、だれもがつながり、学び、よりよく生きていける力が育つよう、家庭・地域・関係機関と連携していじめの防止等のための対策や発生時の対応を総合的かつ効果的に推進するために定めるものである。

いじめの定義	いじめの禁止
「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。（「いじめ防止対策推進法」第2条）	いじめは重大な人権侵害にあたり、被害者、加害者及び周囲の生徒に大きな傷を残すものである。いじめは決して許されない行為であり、全ての生徒は、いじめを行ってはならない。

### 未然防止の重点「人間性や社会性の向上」

- 認め合い高め合う集団づくり ■自己決定の場の提供
- 自己有用感を高める活動、主体的な活動の推進
- 自己調整力を高める指導の充実、環境整備
- 人権教育、道徳教育の充実
- 体験的な学習の充実

### 早期発見の重点：「意識的な観察」

- 行動観察、健康観察 ■積極的な情報共有
- 相談窓口の周知 ■SCによる全員面接
- アンケートの実施（6・7・11・12・2・3月）
- 教員による日常的な校内巡回
- いじめ発生時の対応の確認・周知
- 生徒理解のスキル向上のための研修実施

### 対処の重点「被害生徒と通報生徒の安全確保」

- 行為の抑止 ■生徒の安全確保 ■迅速な報告
- 学校いじめ防止対策委員会での対応方針等の決定
- 詳細な事実関係の把握といじめの判断
- 被害生徒へのケア、加害生徒への指導と懲戒
- 継続指導と経過観察 ■関係集団への対応
- 保護者への対応 ■関係機関との連携

### 家庭・地域との連携の重点：「理解・連携・協働」

- 「伯太中いじめ防止基本方針」の周知を図る
- いじめ問題の重要性の認識を広める
- 保護者面談やたより等を通じて家庭との緊密な連携協力を図る
- より多くの大人が子どもの悩みや相談を受けとめることができるよう連携・協働する体制を構築する

## 事案対応フロー図

